

## 資料 1

# 第3回懇話会のご意見の対応について

Kanagawa Prefectural Government

## 第3回懇話会のご意見

### 第3回懇話会

開催日：令和2年11月4日 14:30～

実施方法：Web開催

### 主なご意見

(広報について)

- ・ 下水道の価値や魅力を、利用者や学生に伝えることについて具体的に記載してはどうか。
- ・ 流域下水道における県と市町の役割分担、費用の仕組みについて、わかりやすい説明が必要ではないか。
- ・ 上下水道の仕組みや災害時の下水道の役割について、わかりやすく説明してほしい。
- ・ 誰に対して何の広報をするか、あまり見えない印象を受ける。

## 第3回懇話会のご意見

### □ 主なご意見

(人材育成について)

- ・ 人材育成について、具体的に記載してほしい。

(財政面について)

- ・ 収支の見通しについて、投資が増える影響が10年では見えないので、20年後、30年後のものも示してはどうか。
- ・ 企業債について、どの程度増加しているか、見えにくいので、起債残高の水準、元利償還金の推移等の指標もあるのではないか。
- ・ 国庫補助が計画通り充当されない場合にどうするのか、議論しておいたほうが良い。

## 広報について

現在、(公財)神奈川県下水道公社と連携して、流域下水道に関する広報活動を、次のとおり実施しています。

- 下水道の役割を分かりやすく説明するパンフレットの作成
- 下水道への理解や関心を深めていただくため、模擬店・ゲームを通じて地域住民と下水道関係職員が交流し、下水処理場の施設見学会や下水道学習室を行う「下水道ふれあいまつり」の開催
- その他、下水道作品コンクール、下水道出張教室、下水道サポーター講座 など



## 広報について

今後も、次のとおり、様々な取組・機会を通じて、積極的に広報活動を実施していきます。

- 流域下水道の認知度(信頼度)をあげ、費用負担への理解を得るため、経営状況や経費負担等の見える化を市町とともに推進します。
- 優秀な職員の確保に向け、職業としての下水道の魅力を伝えるため、学生等への情報発信を強化します。
- 公営企業会計への移行の効果を活かして、経営状況の他の自治体との比較など、分かりやすく情報発信していきます。



具体的な取組内容については、広報検討チームを立ち上げて、利用者に届く分かりやすい広報を検討していきます。

## 人材育成について

「最新技術に関する大学や民間企業との共同研究やディスカッションなどを通じた職員の意欲向上」について新たに記載しました。

- 人材の確保**
  - ・学生等への情報発信の強化
  - ・やりがいをもって働くことができる職場づくり
- 人材の育成**
  - ・国や市町などとの人材の相互交流
- 知識・技術の継承、職員の意欲向上**
  - ・研修の充実など
  - ・大学や民間企業との共同研究やディスカッション



将来にわたり、流域下水道事業を担う人材を育成していきます。

# 財政面について

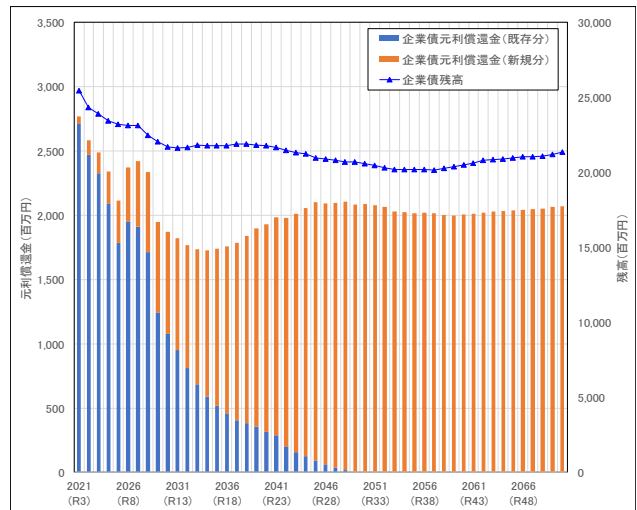
## □ 今後50年間の収支の試算

### ■ 試算の条件

- 令和13年度以降の建設改良費を、ストックマネジメント計画※に基づく改築更新費から算定し、今後50年間の収支を試算しました。

### ■ 企業債残高、企業債元利償還金

- 平成の初期に集中整備した際の企業債の償還が完了していくため、企業債残高、元利償還金ともに減少していきます。
- 改築更新を進めることにより、新規の元利償還金が増えていきますが、将来にわたり、現在の水準を超えない見込みです。



※「ストックマネジメント計画」とは、機械・電気設備、土木・建築施設、管きよの改築更新計画

# 財政面について

## □ 国庫補助金が計画通り充当されない場合の試算

### ■ 試算の条件

- 国庫補助金が計画通り充当されず、資本的支出が令和2年度水準のまま増減がない場合、不足額を、仮に市町負担金、企業債で対応した場合を試算しました。

### ■ 市町負担金、企業債

- 今後10年間の平均で、市町負担金と企業債をあわせると、約14億円/年の増加となります。

